

ふるさとが誇りとする橋「相生橋」

岡山市の中心街を流れる旭川に架かる相生橋周辺は、池田氏31万5000石の岡山城をはじめ、日本三名園のひとつ岡山後楽園など史跡名勝が点在、市の文化的シンボルゾーンとなっている。

昭和59、60年度に実施した相生橋の歩道の拡幅整備にあたっては、周囲の景観と調和したゆとりとうるおいのある橋となるよう、カラータイル舗装、植樹柵の設置、高欄・照明・信号機などの色とデザインの統一などが行われた。また、橋の両側に2カ所ずつの張り出し部が設けられ、周囲の景観をゆっくりと眺めることのできる展望の場所を確保し、市民や観光客に親しまれる橋となるよう工夫がなされた。



所在地 岡山県岡山市丸の内2丁目・内山町2丁目・古京町1丁目

諸元 延長：207m、  
全幅：16m（歩道幅員両側4m）

